

ているようですね。



菅 芳生氏

って川尻まで船で下ったことが二回あるんです。ああいう優雅なといいますか、時間をかけてゆっくり楽しめるようなのもあっていいですね。

夜の観光問題につきましては、食事しながら郷土の踊りをみる。よく団体の時には郷土芸能がみられるのですがね。一人でも二人でもそういうのが見られるという場所が必要でしょうね。

菅 高千穂あたりでは神楽をみせたりし

交通網の整備を

田辺 国際観光、広域観光となりますと、県内の足元を見て、それから九州、そして世界をみてという段階がいろいろな面が必要になってくるでしょうね。

竹下 空港ができて九年になりますが、空港から阿蘇への交通網が整っていないということですよ。

田辺 せっかくの空港という交通機関が点で終わってしまう感じがしますから、それを線、そして面というように広がっていくことも対策として必要だと思います。

竹下 それができると菊池、山鹿方面からの乗り入れも便利になりますし、熊本の特徴が活かされて、お客さんがそれを利用されると思いますよ。

田辺 阿蘇を中心とした外輪地域の振興

も今展開されております。

竹下 阿蘇の雄大さの認識が少ないような気がします。それを知らせる努力が必要でしょうね。阿蘇が爆発すると熊本市内も危ないと思っっている県外の人も多いですよ。

菅 阿蘇山という火口だけという感じを持ってもらえる方が多いようですね。私は知人を案内する時は必ず外輪の方から見せるようにしています。

蘇陽峡にしてもグランドキャニオンを小型化したような、日本でも数少ない渓谷ですしね。

竹下 それから天草にも西海岸みたいにいよいよところもたくさんあるわけで、どこかに小型空港でもつくっていただければと思います。



▲九州縦貫自動車道 (御船町付近)

菅 観光客の入り込みを見ますと、人吉球磨地方が伸びているわけですね。これは霧島方面からはいってくるお客さんが多いと思いますが、その後どう出ていくかということですね。たぶん八代を通って熊本市内だろうと思えますけど、できればルートとして天草と結ぶルートが必要だろうと思えますね。人吉、球磨地方は違った意味をもってきているのではないかと。せっかく増えてきている観光客を県内で滞留させるためには、やはり天草と結ぶルートの整備が早急に必要だろうと思えます。

田辺 芦北・水俣の振興計画、離島解除後の天草の振興計画、そういったことも合致するコースになりますからね。

また、観光産業と一次産業とを結びつけようということで、各担当部課で検討

しております。

菅 シンガポールなどでは駐車場を利用して夜間に屋台がたりしています。熊本市内の駐車場を利用して、朝市なんかを開いていくなんてのもいいのじゃないでしょうか。それが農業との結びつきにもなり、産地もみたくなったりして観光農場もできはしないでしょうか。

田辺 それを県民が利用しながら観光客も見に行けるような形が理想でしょうね。

竹下 藤崎宮祭りの前後に地方の特産物の市場を開くなど、祭りとしてもいきてきはしないでしょうか。

田辺 道路整備、広場の確保等を前提にして今のようなお話を活かしていく必要がありますね。

評価される「観光フェスティバル」

田辺 観光フェスティバルについて、何かご意見がございましたらば。

菅 もうちょっと観光フェスティバル自体の意図がどのへんにあるのかということを出してはしかったですね。それに開催を知ったのも直前で何のために——という感が強かったですね。

田辺 確かにいろいろPR不足ではないかという意見がありましたけれども。これから熊本の観光を盛んにしていく上で目玉的な行事がほしいと考えました。それについては世界の阿蘇ですが、世界に誇る熊本城、特に熊本城をバックにした音楽祭やミュージックフェスティバルをやりたいということになったのです。

ところがたまたま熊本空港にソウルとの国際定期便の見通しがついたものから、国際フェアも併せてやろうという次第になったわけですね。

準備期間が短くて、実施にあたっていただいた方には非常に迷惑をかけ、厚くお礼を申し上げます。

竹下 私は、よくできたなと思ってびっくりしています。これだけのものを知事がやられたということは高く評価できるのじゃないですか。観光熊本というもの

を重要視して施策として打ち出されたことを県民は前向きに受け止めたいと思えますね。

批判はそれぞれあったとしても、行政の面でこれを大事なものととして取組まれた姿勢、これは大いに評価しているので

はないかと思えます。

田辺 県外の人から、「熊本はPRがへたで宣伝費も、ケチって何もできない」と思っていたのに、アッと驚くようなことをやった」という声がありました。

竹下 これは熊本城を使っはじめて意義があるわけで、今後熊本城を使えないということになると考え直さなくてはならないと思えますね。

田辺 県民あげての問題であるならば、県内各地を持ち回りでやれという声もあります。

菅 私達が何んで、と感じたのは期間が短かくて、知ったのも直前で、何のために急にという感じが多かったです。

田辺 本当ならば今年準備のための調査費をつけてもよかったです。空港の国際化によって、やれということになったのです。

竹下 何かの目玉をつけるということになりますと、見当りませぬね。

田辺 各層いろいろな注文があります。素人のど自慢を青空の下でやれという意見がたり。しかし、普通はできないものを、秋の熊本城周辺で名月の光の中で鑑賞するというのも一つのねらいになると思えますね。

菅 もう一つ感じましたことは、県内にも姉妹都市関係もっているところが多々あると思えます。こういう祭りの中に、例えば桂林市を招いたりすれば、私の姉妹都市はこんなところかと知ることでもできる、次回は旅行は姉妹都市にしよう、向こうの人達にもきてもらおうという事で相互関係での外人のお客さんも増えるし、そういう形で勉強もできると思えます。

田辺 いろいろ貴重なご意見をありがとうございます。

これからの観光行政に大いに参考にさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



▲熊本城